

【政務活動報告書（県内）】

| 年月日 | 活動先 | | | 政務活動の内容 | 関連領収書 番号 |
|------------------|-----|-------------|----------------------------|--|-------------|
| | 住所 | 活動先の名称 | 対応者 | | |
| 30. 4. 14 | 倉吉市 | 倉吉セントパレスホテル | 鳥取県モンゴル中央県親善協会 | 平成 30 年度鳥取県モンゴル中央県親善協会の定期総会 | 2, 3 |
| 30. 4. 25 | 境港市 | 航空自衛隊美保基地 | 北村司令、須田渉外室長、江口管理部長他 | C-2 輸送機、C-2 フライトシュミレーター、CH-47 ヘリコプター等の見学 | 200 |
| 30. 5. 25 | 鳥取市 | 議会棟 | 生活環境部、観光戦略課、資産活用推進課 | 6 月定例会一般質問の調査 | 33, 34 |
| 30. 6. 1 | 鳥取市 | 議会棟 | 執行部 | 6 月定例会政務調査会 | 39, 40 |
| 30. 6. 30 | 鳥取市 | かっこ館とりっこ広場 | 山陰海岸ジオパーク推進協議会 | ユネスコ世界ジオパーク再審査に向けた気運醸成 | 81~83 |
| 30. 7. 20 | 鳥取市 | 議会棟 | 危機管理政策課 | 7 月豪雨災害の被害状況調査 | 87, 88 |
| 30. 7. 26 | 鳥取市 | 議会棟、山白川排水機場 | 人権同和対策課、水資源保全課、河川課、鳥取県土事務所 | 拉致問題、水道法改正、緊急治水対策の調査及び山白川排水機場の視察 | 90~92 |
| 30. 8. 31 | 鳥取市 | 議会棟 | 観光戦略課 | R9 号線のサイクリング活用調査 | 105, 106 |
| 30. 9. 4 | 鳥取市 | 議会棟 | 執行部 | 9 月定例会政務調査会 | 111, 112 |
| 30. 11. 15 | 鳥取市 | 議会棟 | 執行部 | 12 月定例会政務調査会 | 137, 138 |
| 30. 12. 20 | 鳥取市 | 議会棟 | 各種団体 | 各種団体からの予算要望の聞取り | 157~159 |
| 31. 1. 20 ~21 | 倉吉市 | 倉吉セントパレスホテル | 人権同和対策課 | 拉致問題研修会及び街頭署名活動 | 165~168 |
| 31. 1. 28 ~29 | 鳥取市 | 議会棟 | 執行部 | 2 月定例会政務調査会 | 175~179 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 県議会自由民主党会派視察 |
| 活動年月日 | 平成30年4月16日～17日 |
| 場所 | 1、島根県松江市役所 2、松江オープンソースラボ 3、島根原子力発電所 |
| 活動の相手方 | 1、松江市役所担当職員、森協議長 2、松江市産業経済部の各課職員 3、岩崎本部長、長谷川副本部長他 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <p>1、公共施設適正化計画の取り組みについて調査。 2、「Ruby City MATSUE」プロジェクトの調査。 3、島根原子力発電所施設の安全対策と3号機の概要について調査した</p> <p>【内容】</p> <p>1、平成28年に策定された公共施設適正化計画の取り組みについて調査。松江市は計画策定の前段として、平成25年に公共施設白書を作成し、全国的にも稀な市有施設の個別評価をしていた。</p> <p>2、「松江オープンソースラボ」は、「まつえ産業支援センター」が運営しており、組織は松江市産業経済部の各課で構成する直営組織となっていた。小中学校のカリキュラム化やビジネスコンテストの開催、関連企業の誘致やインドとの人材交流等、全庁的に取り組みを推進していた。</p> <p>3、3号機は、新規規制基準の適合申請に向けて準備が進んでおり、現在の免振重要棟の代替に新たに建設された耐震棟を始めて調査することが出来た。運転前の3号機は放射線被爆が無いとため、原子炉内部も見られることから、世界各国から視察に訪れているとの事だった。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>1、公共施設適正化計画を推進するにあたり、地域間調整等の課題について理解が深まった。</p> <p>2、「Rubyのまち松江」の確立に向けて、全庁的な取り組み状況や今後の課題について理解が深まった。</p> <p>3、3号機の新規制基準の適合申請に向けて、準備状況の理解が深まった。</p> |
| 関連領収書番号 | 200 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | PPP/PFI の政策動向や先導的事例等の調査 |
| 活動年月日 | 平成 30 年 4 月 17 日 |
| 場 所 | 日本政策投資銀行松江事務所 |
| 活動の相手方 | 第 8 期 PPP/PFI 大学校サテライトキャンパス |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】 PPP/PFI 事業を企画・実践するための基本的視点や実務知識・ノウハウを勉強する。</p> <p>【内容】 DBJ 地域企画部の小林課長による、「超高齢化・人口構成激変をめぐる動向と PPP/PFI」と、内閣府民間資金等活用事業推進室の濱田企画官、国交省官民連携政策課の内田企画官による、「PPP/PFI の推進について」を受講し意見交換を行った。</p> <p>【結果（成果）等】 PPP/PFI の概要や動向、取り組み事例等について受講し、新たな地域づくりの実現手段としての有効性を学んだ。</p> |
| 関連領収書番号 | 5, 6 |

政 務 活 動 報 告 書

| | |
|---------------|--|
| 活 動 事 項 | 農業分野における高齢者就労の事態調査 |
| 活 動 年 月 日 | 平成 30 年 4 月 21 日 |
| 場 所 | 埼玉県上尾市「農業法人ナガホリ」 |
| 活動の相手方 | 「農業法人ナガホリ」永堀社長 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】 農業分野における高齢者就労の取り組み状況を調査し、今後の可能性について検討する。</p> <p>【内容】 農林水産省の平成 21 年度交付金を活用して集出荷場や冷蔵庫等を整備し、小松菜中心の生産から枝豆やほうれん草、かぶやブロッコリー等へと生産の幅を広げている。ナガホリの最大の特徴は高齢者の就労で、90~100 名のパート従業員の殆どが高齢者で、個々の就労時間は自分で決定し、全体の調整の中で自主的に運営されていた。</p> <p>【結果（成果）等】 少子高齢化の人口減少社会において、ハンデキャップをチャンスに変える就労スタイルが実践されており、本県の高齢者就労や農業の労働者不足に検討すべき課題だと感じた。</p> |
| 関連領収書番号 | 7~12、15 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|---|
| 活動事項 | 「政府に今年中の全被害者救出を再度求める国民大集会」 |
| 活動年月日 | 平成30年4月22日 |
| 場所 | 東京都千代田区 砂防会館別館 1F「シェーンパッハ・サボー」 |
| 活動の相手方 | 家族会、救う会、拉致議連、知事の会、地方議会全国協議会 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <p>米国を始めとする国際社会は昨年8月、9月、12月に北朝鮮に対する制裁強化を決議し、核実験やICBMの中止等の大幅な方針転換を発表するに至った。このような中、「政府に今年中の全被害者救出を再度求める国民大集会」に参加することにより、全拉致被害者の早期帰国を目指し、拉致被害者を抱える本県の更なる県内機運を高めると共に、必要となる対策を検討することを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <p>飯塚繁雄家族会代表、古屋圭司拉致議連会長、安倍晋三内閣総理大臣、加藤勝信拉致問題担当大臣、山谷えり子自民党対策本部長、竹内譲公明党対策委員長、長妻昭立憲民主党対策本部長代行、松原仁希望の党対策委員長、原口一博民進党対策本部長、東徹日本維新の会対策本部長、上田清司知事の会会長、松田良昭地方議会全国協議会会長、西岡力救う会会長、家族会会員、大沢昭一特定失踪者家族会会長、荒木和博特定失踪者問題調査会代表、塚田一郎拉致議連事務局、以上による挨拶、訴え、決議案朗読等が行われた。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>一、全拉致被害者の返還の実質協議に込めよ。</p> <p>二、政府は全拉致被害者の即時一括帰国を実現し、安全確保と保護の準備をせよ。</p> <p>三、国民はブルーリボンを身に付け意思を示すと共に、アニメ「めぐみ」の学校上映等啓発活動を続けよう。</p> <p>国民大集会で決議した上記三項目について、今後の議会活動を通して県民との情報共有を図ると共に、事業化に向けて働きかけて参りたい。</p> |
| 関連領収書番号 | 12～15、200 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 企業主導型保育事業の概要と実態調査 |
| 活動年月日 | 平成30年4月26日 |
| 場所 | 東京都千代田区中央合同庁舎8号館 |
| 活動の相手方 | 内閣府及び厚生労働省 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】 地方の保育行政における企業主導型保育事業の効果と影響について調査する。</p> <p>【内容】 認可施設に比べ保育士の配置基準が緩く、保育行政を担う市区町村に審査・指導権限が無い点をふまえ、企業主導型保育所を含む保育の環境整備及び質の向上について協議した。</p> <p>【結果（成果）等】 子育て支援新制度の評価と自治体の取り組み等について、子育て王国とつとり推移議員連盟として共通理解が深まった。</p> |
| 関連領収書番号 | 201、20 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|---|
| 活動事項 | 1、合区の早期解消促進大会への参加 2、「モザイク型就労」の調査 |
| 活動年月日 | 平成30年4月27日 |
| 場所 | 1、東京都千代田区永田町「全国市町村会館」 2、東京大学駒場キャンパスの先端科学技術研究センター |
| 活動の相手方 | 1、地方自治確立対策協議会 2、檜山敦講師 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <p>1、大会を通して合区の早期解消を求める気運を高める。 2、シニア労働力をマッチングする「高齢者クラウド」の研究開発状況を調査する。</p> <p>【内容】</p> <p>1、自民党の橋本聖子参議院会長、公明党、立憲民主党、希望の党、民進党、日本共産党、日本維新の会、沖縄の風の各代表が順次決意を述べ、都道府県単位で代表が出せる選挙制度とすることを求め大会アピールを決議した。 2、複数人で1人分の仕事を行う「モザイク型就労」を提案し、時間を組み合わせるタイムシェアリング就労、遠隔操作ロボットやVRによる遠隔就労、複数人のスキルを組み合わせるバーチャル人材合成の3種類の説明を受けた。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>1、各政党及び各都道府県の自治体単位で合区の解消を求め、憲法改正も視野に活動を加速する一助となった。 2、働き方改革の中で、高齢者就労も含め多様な就労スタイルが求められており、議会質問等の参考となった。</p> |
| 関連領収書番号 | 201、21～26 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 中国横断自動車道岡山米子線 4車化促進鳥取県議会議員連盟の要望活動 |
| 活動年月日 | 平成30年6月5日～6日 |
| 場 所 | 国土交通省中国地方整備局、NEXCO西日本中国支社、国土交通省、NEXCO西日本本社 |
| 活動の相手方 | 富樫道路部長、小橋支社長、吉岡道路局企画課長、石川道路局長、前川常務 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】 中国横断自動車道岡山米子線の早期の全線4車化に向けて気運を高める。</p> <p>【内容】 中国横断自動車道岡山米子線の早期の全線4車化を求める要望書の提出と意見交換。</p> <p>【結果（成果）等】 国土交通省の石川道路局長から、「4車線化は何より有料路線が優先」との発言もあり、早期の全線4車線化に向けて弾みが付いた。</p> |
| 関連領収書番号 | 200 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 1、上下水道事業の課題と展望の調査 2、高齢者就労の取り組みと課題の調査 3、公有地の利活用の調査 |
| 活動年月日 | 平成30年6月11日～12日 |
| 場所 | 1 ヴェオリア・ジェネッツ（株）東京本社、2 一般社団法人セカンドライフファクトリー、3 ココファン柏豊四季台、ココファン横浜鶴見 |
| 活動の相手方 | 内野副社長、アラニャ営業本部長、中谷理事、中島事務局員 高畑サブマネージャー、志田事業所長、赤坂コーディネーター、鷺田事業所長 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <p>1、国内外の取り組み事例を聞き、上下水道事業の今後の課題と展望を調査する。</p> <p>2、高齢者就労の現場を視察し、現状の課題と今後の展望を調査する。</p> <p>3、公有地の民間活用の現状と今後の可能性を調査する。</p> <p>【内容】</p> <p>1、日本初の浜松市下水道処理場のコンセッションや海外での実績について意見交換を行った。</p> <p>2、少子高齢化と人口減少局面における高齢者就労の現状と今後の可能性について意見交換を行った。</p> <p>3、公有地を活用したサービス付き高齢者向け住宅の運営状況と地域の拠点形成について調査した。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>1、今後の官民連携のあり方について、議会質問等の参考となった。</p> <p>2、働き方改革をふまえ、今後の高齢者就労のあり方について、議会質問等の参考となった。</p> <p>3、今後の行政運営における公有地の利活用について、議会質問等の参考となった。</p> |
| 関連領収書番号 | 45、47～60、62～64 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 就労継続支援B型・就労以降支援事業・グループホーム等の一体的運営の調査 |
| 活動年月日 | 平成30年6月24日 |
| 場所 | 東京都西東京市「一般社団法人ION」 |
| 活動の相手方 | 天宮真依子代表理事、天宮一大顧問他 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】 同じ施設で一体的に運営するB型福祉作業所や就労以降作業所、また就労支援事業やグループホーム等の概要と課題を調査する。</p> <p>【内容】 作業所はB型福祉作業所を2学年、就労以降作業所を2学年に分けて合計4学年とし、それぞれ適合クラスを選択して利用者の育成と就労訓練を行い一般就労を目指す。グループホームは年中無休で家庭的な環境を整えると共に、本格的な自立に向けてサテライト型ホームも準備中とのことだった。就労支援事業では作業所で成長した利用者が活躍できるためのサポート定着支援を一気通貫で行う運営がされていた。</p> <p>【結果（成果）等】 全ての人が等しく暮らせる共生社会の実現に向けて、議会質問等も含め推進する上での参考となった。</p> |
| 関連領収書番号 | 68～73 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 1、下水道事業民営化の調査 2、公有地を活用した福祉事業の可能性調査 |
| 活動年月日 | 平成30年9月5日 |
| 場所 | 1、国土交通省、 2、株式会社学研ココファンホールディングス |
| 活動の相手方 | 1、下水道企画課、植垣課長補佐他 2、小早川社長 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <p>1、下水道事業における民営化の導入事例を調査する。 2、鳥取県への事業展開の可能性について調査する。</p> <p>【内容】</p> <p>1、コンセッションや包括委託の導入事例について意見交換を行った。 2、公有地を活用したサービス付き高齢者向け住宅の運営状況と地域の拠点形成について意見交換をした。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>1、技術者不足や老朽化更新、投資の最適化等下水道事業を取り巻く諸課題の論点整理に参考となった。 2、学研ココファンの取り組み事例を通し、地域包括ケアの構築に向けての諸課題について理解が深まった。</p> |
| 関連領収書番号 | 113～115、202 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|---|
| 活動事項 | 県議会自由民主党会派視察 |
| 活動年月日 | 平成30年9月6日～7日 |
| 場所 | 1、岐阜県郡上市和良町 2、岐阜県各務原市 |
| 活動の相手方 | 1、岐阜県鳥獣被害対策広域指導員、酒井氏 2、今井航空機器工業(株)本社、今井社長他 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <p>1、村づくりの視点からの鳥獣被害対策の実態調査。 2、航空機器産業の現状と今後の見通しについて調査。</p> <p>【内容】</p> <p>1、宮地集落では、集落ぐるみの捕獲対策を推進するため、「平成の里人の集楽活動」を合言葉に①皆で②囲って③除いて④追い払って⑤捕って⑥食べてを実践している</p> <p>2、工場見学では、軍用を含む航空機器の製造過程を視察した。分厚いアルミ板から主翼の構造部品を削り出す工法等、過去の航空機事故の教訓が部品作りや製造管理に反映されていた。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>1、「平成の里人の集楽活動」は、農地を守る活動と共に文化の継承にも重きが置かれ、本県の鳥獣対策の参考となった。 2、本県誘致企業の現状と今後の課題について理解が深まった。</p> |
| 関連領収書番号 | 200 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 第8期 PPP/PFI 講義受講 |
| 活動年月日 | 平成30年9月12日 |
| 場 所 | 日本政策投資銀行松江事務所 |
| 活動の相手方 | 第8期 PPP/PFI 大学校 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】 第8期受講内容の総括と第9期の課題について意見交換を行う。</p> <p>【内容】 第8期では、高齢化・人口構成激変をテーマとして地域のあらゆるリソースを活かし、官民連携による地域創生を図る取り組みについて、官民双方の視点から紹介し、全国で共有すべき共通の課題に対しての積極的な対話・意見交換を行ったが、第8期受講内容の総括と第9期の課題について、TV会議システムで各会場と結び論点整理及び意見交換を行った。</p> <p>【結果（成果）等】 地域の課題解決手段として、また、新たな地域づくりの実現手段として PPP/PFI をより有効活用するための参考となった。</p> |
| 関連領収書番号 | 116, 117 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|---|
| 活動事項 | 地方議会全国協議会幹事会 「拉致被害者の即時一括帰国を！国民大集会」 |
| 活動年月日 | 平成30年9月23日 |
| 場所 | 東京都千代田区 砂防会館別館1F「シェーンバッハ・サボー」 |
| 活動の相手方 | 家族会、救う会、拉致議連、知事の会、地方議会全国協議会 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】 6月の米朝首脳会談から2ヶ月が経過したが、未だ北朝鮮は拉致問題に対応する気配を一切見せていない。拉致問題が解決するまで対北制裁を緩めることなく拉致被害者の即時一括帰国に向けて取り組みを加速させる。</p> <p>【内容】 幹事会は「救う会」西岡会長の現状報告、各県幹事、加藤拉致問題担当大臣の挨拶後、松田幹事会会長から要望書提出して閉会。次に国民集会は安倍総理、家族会、拉致議連、知事の会、地方議会の主催者挨拶、各党の代表挨拶、家族会の曾我ひとみさん、横田早紀江さん、松本孟さん他が拉致被害者の即時一括帰国を訴え、西岡会長の頑張ろうコールで締めくくった。</p> <p>【結果（成果）等】 直接交渉を担う政府以外に出来ることは、拉致を知り国民の声として大きくしていくことであり、関心の薄い国民に対し如何に働きかけるか今後の活動に参考となった。</p> |
| 関連領収書番号 | 120、123、200 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 中国横断自動車道岡山米子線 4 車線化促進総決起大会 |
| 活動年月日 | 平成 30 年 11 月 16 日 |
| 場 所 | 衆議員第一議員会館 |
| 活動の相手方 | 自民党、国土交通省他 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】 中国横断自動車道岡山米子線の早期の全線 4 車線化を目指し、関係機関に働きかけを強める。</p> <p>【内容】 平井知事、伊木市長の主催者挨拶に続き、白石日野町長、安田境港管理組合議長、柴野皆生旅館組合会長から意見発表が行われ、赤沢衆議院議員、青木参議院議員、舞立参議院議員の挨拶後、早期の 4 車線化を求める決議案を中村市長が読み上げ満場一致で可決し、斉木議連会長の挨拶で閉会した。</p> <p>【結果（成果）等】 中国横断自動車道岡山米子線の全線 4 車線化について地元関係者の熱意を伝えた。</p> |
| 関連領収書番号 | 139～144, 151, 152 |